



# 院入試・英語問題

2013年5月25日

阪大情報科学研究科情報基礎数学専攻

# 本日の概要

1

• 数学系における英語

2

• 実際の院入試

3

• 英語の勉強の仕方



1

• 数学系における英語

# 数学系における英語

- 英語で書かれた本や論文を読む
- 実際に英語で論文を書いて発表する
- 研究会で英語の講演を聞く
- 研究会で英語で発表する(口頭・ポスター)

読む・書く・聞く・話す が求められる

修士課程でも最低「読む」は必須



2

• 実際の院入試

# 出題

- 例年4問出題
    - 普通初日10時から12時/時間はじゅうぶんある
  - 基本的には**数学の内容に関する英文**
    - 数学に関する英文を読んでおく
  - 他専攻と異なり、**TOEICなどで代替しない**
  - 出題例
    - 全訳・部分訳/穴埋め
    - 英語で書いてある文章の説明/要約
- サンプル問題は専攻のweb siteにある



3

• 英語の勉強の仕方

# 英語の勉強

- 数学で使われる英語はさほど難しくはない
- 高校までの英語の文法で十分
- ただし**専門用語**は必要
- 数学の英文の独特の言い回しに慣れる

一冊読めば慣れていくので、

**とにかく読むこと**

が大切



# 具体的にどうするか

- 英語で書かれた学部向きの教科書を読む
- **英語版Wikipedia**で項目を読む

(以下の項目は[hyperlink](#)になっています)

[Cauchy sequence](#) [Eigenvalues and eigenvectors](#)

[Permutation group](#) [Compact space](#)

- ネットで探せば、**英語の講義録**もある

[Linear Algebra](#) [Calculus](#) [General topology](#)

[Complex Analysis](#) [Ordinary Differential equations](#)

[Artin's Galois Theory](#)

(これらは推薦書ではなく、あくまでネットにある英文の例として挙げたものです)

# 英語の勉強

- 高校までの英語の文法・英文解釈は必要
- 加えて数学の専門用語を知っておくこと  
(わからない単語でも、普通の辞書に多くは載っている。Webで検索したり、**数学辞典**も役に立つ)

一冊読めば、書き方に慣れていくので、  
**英語の本やWebなどをしっかり読むこと**  
が大切。